

議 事 概 要

【第1回】新型コロナウイルス感染症の影響等に係る緊急経済対策本部会議

1. 日時 令和2年5月28日（木） 13:10～14:20

2. 場所 県庁6階 第1・第2特別会議室

3. 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、富川 副知事、島袋 政策調整監、
金城 知事公室長、池田 総務部長、宮城 企画部長、松田 環境部長、
名渡山 子ども生活福祉部長、大城 保健医療部長、長嶺 農林水産部長、
嘉数 商工労働部長、渡久地 文化観光スポーツ部長、上原 土木建築部長、
伊川 会計管理者、永山 企業企画統括監、儀間 教育管理統括監、
宮沢 県警本部長、我那覇 病院事業局長

4. 議題

(1) 設置要綱（案）について

① 議事説明

- ✓ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴って県内経済に深刻な影響を及ぼしていることから、関係部局が一丸となって対策に取り組む必要がある。
- ✓ 関係部局間における緊密な連携のもと、課題解決に向けた取組を推進するため、知事三役及び部局長等で構成する本経済対策本部を設置する。
- ✓ 本対策本部は、「沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部」とは別に、新たに設置するものであり、新型コロナウイルス感染症に係る経済対策に取り組んでいくために、県が独自に立ち上げるもの。

② 参加者意見

- ✓ 設置要綱本文に所掌事務を明記すべき。

③ 決議

- ✓ 設置要綱本文に所掌事務を追記することとし、緊急経済対策本部の設置を決定した。

(2) 経済対策の基本方針（案）について

① 議事説明

- ✓ 本基本方針（案）は、5月15日の知事定例記者会見にて公表した「沖縄県の経済対策の基本方針（素案）」に関して、全庁的な意見を集約した上で、緊急経済対策プロジェクトチームにおいて取りまとめたもの。
- ✓ 疫学的立場からの判断を基に、これまで制限・自粛を要請した県民

生活および経済活動等を段階的に解除して、「新たな生活様式」へのコロナシフトをしつつ、4つのフェーズ毎に経済活動の再始動と発展を推進していく。

- ✓ 今後実施を検討していく、フェーズ1及びフェーズ2に対応する主な施策に係る基本的な考え方として、「安全安心の島おきなわの構築」と「県民の事業と生活を維持し、将来を先取りした経済の礎を築く取組」を軸に
 - (1) 医療提供体制の構築やPCR検査体制の拡充及び水際対策の強化等を図るもの
 - (2) 県内事業者の事業継続や県民生活の維持に必要なもの
 - (3) 県内の消費喚起や域内の経済循環を図るもの
 - (4) デジタル化の促進や次の付加価値を生む事業転換につながるものを重点的に選定していく。
- ✓ 県経済の早期の立て直しに向けては、フェーズ3及びフェーズ4の対応も重要となってくることから、関係団体等との意向も踏まえ、実効性の高い対策が展開できるよう万全を期していく。

② 参加者意見

- ✓ 専決処分で実施することとなった取組を追記すること。
- ✓ 補正予算について、カテゴリーが分かるよう「1次補正」、「2次補正」、「3次補正」を明記してほしい。
- ✓ 「文化・芸術」や「首里城の復興」については、どのフェーズに位置付けるかやスパンが適切か等を検討すること。
- ✓ フェーズ4の「新型コロナウイルスの収束」について、どのような状態になれば収束したと判断できるかは非常に難しいが、県の専門家会議での議論も踏まえ、考えていきたい。

③ 決議

- ✓ 意見等が出尽くした後、上述の意見等を反映させ、知事三役に確認の上で、基本方針を決定することを確認し、閉会した。

令和2年7月15日

〔商工労働部 産業政策課〕